

## 講習内容のご紹介

コース名称	ITツールを活用した業務改善(6時間)
サブタイトル	～DX(デジタルトランスフォーメーション)に関するコース・入門編～
コースのねらい	業務の省力化や効率化を目指して、ITツールを活用することで業務改善を実現するために、ITツールの特徴と種類を理解し、自社業務に適切なITツールを選定するための知識が習得できます。
コース概要	ワークショップ形式で進行することで、業務改善の疑似体験ができるように工夫しています。また、自社の問題や課題を題材にすることで、研修終了後すぐにも業務改善に着手できるようになっています。

## 講義内容

<b>1. ITツールの種類と活用(3時間)</b>	
(1)	業務改善の基本となるOIPの考え方と業務改善のステップについて解説します。その上で、自社でITツールを導入する際の手順(問題発見、あるべき姿の設定、現状とのGAP把握、解決策の検討、ツールの検討、テスト導入、本格導入、ユーザートレーニング)を解説します。
(2)	ITツールを活用して業務改善を行っている事例を紹介しします。特に中小企業での活用事例を中心に解説します。ポイントは、少ない投資、適用スピード、小さな成功体験の積み重ね、の3点であることをお伝えします。
(3)	企業活動の様々なシーンでITが活用されています。ここでは、ITツールのトレンドとどのような種類があり、どのような現場(シーン)で活用されているのかをツールの側面から解説します。クラウド、IoT、RPA、業務アプリ、AI等の最新ツールも合わせて紹介します。
<b>2. ITツールの業務適用(3時間)</b>	
(1)	3年後の自社のありたい姿(ビジョン)を参加者全員で創造します。ビジョンから逆算して、3ヶ月から1年の間に実現したい目標を設定し、目標を達成するための方法(戦略)を考えます。
(2)	ビジョンに照らし、自社のどの業務をIT化すべきかについて、演習を交えて検討を行います。コミュニケーションの改善、情報の一元管理、ルーチンワークの削減など、自社の課題と照らし合わせて検討します。導入する場合のステップについて、特にスモールスタート・クイックウインの考え方を解説します。
(3)	自社にとってどのようなサービスが必要なのか、どのような機能が必要なのかを検討します。個々人が解決したい業務課題を書き出し、それを解決するためのITツールについてグループワークにて検討を行います。